

シルバー

Since 1992



シルバー人材センターだより(第40号) 令和6年3月

理事長あいさつ

令和5年度2月定例理事会報告

辰年生まれ特集

高齢者活躍人材確保育成事業

互助会だより

会員へのお願いとお知らせ

②

②

③

⑥

⑦

⑧

④

⑤



令和6年1月：植木剪定講習会

理事長挨拶



安部 政博

令和6年度を目前に控え、会員及び役職員の皆様、そして日頃より当センターの事業運営にご支援・ご協力を賜っております宇佐市をはじめ関係各位に対し厚くお礼を申し上げます。

さて、少子高齢化とそれに伴う人口の減少は今後もさらに進むものと予測される中、シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、高齢者の永年培ってきた知識・技能・経験を活かし、働き、学び、ボランティア活動など多様な形で地域社会に参加し、生きがいを実感することのできる社会の構築を目指すことが重要となっております。

また、国の施策により70歳までの継続雇用が努力義務となった事は、一段と会員確保が難しい現状であります。高年齢化社会、長寿化など社会構造の変化に対応していかなくてはならない課題であります。さらには、全てのシルバー人材センターが懸案としている消費税におけるインボイス制度が昨年1月から導入されましたが、消費税入相当額の

財源確保に向けた実効性のある対策を、関係機関の指導・助言のもとで講じております。

また、新型コロナウイルスは感染拡大から4年が経過し、拡大・縮小を繰り返しながら、当センターに事業にも影響をもたらしましたが、徐々に回復傾向も出てきており、これからの明るい兆しに期待しているところです。

今後、シルバー人材センターの仕事を進める上で最も重要なことは、安全就業であります。「安全はすべてに優先する」という事を会員の皆さんが肝に銘じて事故撲滅に取り組んでいく必要があります。

令和6年度も、会員、役職員が一体となって安全で適正な就業に心がけ、地域の皆様に喜ばれ、信頼され、魅力あるシルバー人材センターづくりを目指していこうではありませんか。

最後になりましたが、会員の皆様が健康に留意されシルバーのモットーである「生涯現役」を目指して頂くようお願いし、私の挨拶といたします。

2月理事会開催

去る2月16日(金)さんさん館会議室に於いて令和5年度2月定例理事会が開催されました。

理事長の挨拶のあと、議案審議に入り、第1号議案 令和6年度事業計画(案)の承認について、及び、第2号議案 令和6年度収支予算(案)の承認について提案され、審議の結果いずれも原案どおり承認されました。

次に第3号議案宇佐市シルバー人材センター事務局長(案)の承認について提案されました。

この議案は、かねてより病気療養中であった常務理事兼事務局長松本好恵氏が令和6年2月20日をもって退職したのに伴い、後任の事務局長として今年度宇佐市役所を退職する新納孝明氏を推薦いただいたので、

定款第50条第3項に基づき理事会の承認を求めたものであります。なお、事務局長の就任は

令和6年4月1日付です。



辰年特集

令和6年は辰年です。センター会員のうち辰年生まれの方は48人いらっしゃいます。

「七回目の年男」

921 薬師寺 信幸(四日市)

日頃よりお世話になっているセンターからの依頼ですから応えようと思っております。

昭和30年代は福岡での会社生活にも慣れた頃です。思い出すままに書いてみます。

当時、ラジオ放送全盛期の時代で「ステレオ放送」なるものが開始され、放送局が会場を公開していたので友人とTAXIで聴きに行ったものです。放送局が本格的な設備で演奏するものです。その音響に圧倒され、感動しました。その後、家電メーカーが音響機器を展開し家庭でも聴けるようになりましたね。

それともう一つは、昭和34年、平成天皇が皇太子だった時の「御成婚」のテレビ放送を会社の白黒TVで視聴したものです。

会報事務局からの依頼で昔懐かしい事を思い出し、寒い日の午後を懐かしさに浸りながら過ごすことができました。感謝しています。



「八十年代半ばに至る」 925 久保 正之(柳ヶ浦)

還暦から二回り今年の8月で84歳になる。自分の顔を鏡に覗けば白髪まじりの老人かもーいや80代半ばになったばかりで、人生まだまだまだ長い、気持的にも体力的にも大丈夫だと思っている。

ところで、若き一杯だった20代を少し思い出してみたい。懐かしさもあれば、また自分に対し一抹の不満もある。その頃は東京杉並の親類の家に、学生でもあったし、アルバイトもしていた。大田区の住所へ移った際、近くに体育館があり、スポーツの場であった。

その中の一つに、剣道の練習も盛んだった。高校時代から剣道に興味を持っていたので地域の剣道同好会に入れてもらい、以後30歳まで自分なりに頑張った。何とか2段免状までこぎつけた。

時に、昭和34年皇太子(現上皇、上皇后)御成婚の年、世紀のパレードを皇居近くまで見物に、大勢の人々で沿道は埋め尽くされていた事を思い出す。

遡って、西暦1940年生まれ。2000年の還暦で60歳の定年。以後、現役退職から今日まで20数年、当シルバー人材センターにお世話になっている。仕事を通して人間関係やレクサークル、旅行等々楽しく過ごさせてもらいました。感謝申し上げます。

「余生必ずしも永遠ならず」の言葉があります。ともかくも、元気でいる限り、何か少しでも社会貢献出来ればと思うところである。

「年男を迎えて思う」 1029 前田 和治(長洲)

生まれて七度目の年男を迎えられた事は家族をはじめ周りの皆様方のお陰であることは勿論のこと、それもりタイヤ後に当センターに加入させて頂き会員の皆様と楽しく仕事や色々な行事に参加出来たこと、それというのも、私が42歳の時に職場の自己啓発研修で、自分の「夢」、「目標」、「長所」の記述提出の要請があり、「忍耐力」と80代まで健康に生きる」を座右の銘とした経緯があります。それを今まで維持できたことは人生の晩年に当センターで過ごした日々が最も大きな要因であったと思います。人生百年時代、未だ会員として過ごしたいと思っていますので、会員の皆様よろしくお願ひしますと共に宇佐市シルバー人材センターの益々の発展を祈念します。

私も「年男」として豆まきに参加しました。



宇佐神宮節分祭
節分はもともと、宮中において除夜に行った「追難(ついな)」という大晦日に疫病の魔を払う儀式が由縁とされています。室町時代に民衆の間で、節分の時に豆を撒く行事に変化しました。

1161 安部 イツカ(津房)

昭和15年2月辰年生まれ、幼少期は、戦争で飛行機が飛んでサイレンが鳴っていました。戦後小学校に入学、物のない時代、配給でくじ引き、なかなか当たりませんでした。食べ物、衣類もあまりなく、姉のお下がりを擦り減るまで着ていました。おやつは、山の実、柿、畑の草を食べました。家では田んぼや、畑の草取りで遠足や社会見学も行かれず高校を卒業したら早くお金を取りたいと思いました。就職し、5年間勤めて結婚しました。田んぼと畑が少しあり、何も作ったことのない私。近所の叔母さんが「何を植えるのかえ」と言ったので、種子を蒔いたら出来るだろうと言いました。少し、玉葱の苗を植えたら草の方が大きくなって、それ以来密植するようにし、叔母さんが「あんたは百品植えるんやね」ち言うようになりしました。

子どもの成長とともに幼稚園、中学校、婦人会の役員をさせられ、運転免許証を取り仕事や自主学習をし、自分を磨いてきました。

宇佐市が合併した翌年、シルバーに入会しました。何もわからないままあらゆる役員をさせられ、仕事は草取、庭木剪定の仕事をしました。シルバーに入会したお陰で多くの人を知り、外国旅行3回、1泊旅行、日帰り旅行と楽しかったです。安全標語は、理事長表彰や県にも出して入賞しました。良い思い出です。これからも前向きに生きたいと思います。



1897 平田 和典(糸口)

今年は何事と云う事で心新たに新年を迎えました。ところが新年早々、能登地震、飛行機事故、政府の裏金問題等々、様々な事が起こり大変な一年になるのではと予想されます。自分としては、今日まで多くの方のお陰で無事72才を迎えることが出来ました。過去の楽しかった事、苦しかった事、いろいろな事が思い出されます。今後は健康第一に社会の一員として感謝の気持ち、笑顔でありがとうを忘れず頑張っていきたいと思えます。

1917 牧野 福美(長峰)

2024年辰年、十二支の中で唯一の空想上の生物、私はこの空想上の生物(竜)、辰年を何度迎えたのでしょうか。20歳という若さであればすぐに何日目か分かるけれど、今の年齢となると少し考えてしまう。

生まれてから成人式と半世紀の誕生日をプラスしてもまだまだ足りない歳(苦笑い)そんな月日のなか、いろんな出来事に出会う。楽しかった事、嬉しかった時、ワクワクドキドキ皆で大はしゃぎ大笑い、悲しかった事、寂しかった日々、怒った時は涙を流し、そんな繰り返しの日々の中、今の自分があり今年の干支、辰年を迎えている。



辰年は陽の気が動いているとの事。これにあやかりこれからはいろんな人との出会い、巡り会いの縁を楽しみながら欲張らず、半歩半歩、歩いて行けたらいいなと思います。

1804 下瀬 一枝(四日市)

令和6年 私にとって6回目の辰年は能登半島大地震、羽田空港の飛行機事故という不安の中のスタートでした。

私がシルバーに入会して9年になります。色々な仕事、会員さんとの出会い、この年になっても働ける喜びに感謝しつつこれからも健康に留意し穏やかな日々を過ごして行けたらと思います。

そして7回目の「年女」もシルバー会員として迎えたいと思います。

頑張るぞー



辰年生まれの方々の紹介です。

番号	氏名	地区	番号	氏名	地区	番号	氏名	地区
816	中野 アイ子	高家	1734	井上 耕二	高家	2018	岡本 一彦	豊川
916	永松 美敏	駅館	1739	川崎 英典	長洲	2026	吉田 久義	糸口
921	薬師寺 信幸	四日市	1752	河野 二三雄	北馬城	2040	山下 京子	四日市
925	久保 正之	柳ヶ浦	1804	下瀬 一枝	四日市	2050	後藤啓一郎	豊川
1029	前田 和治	長洲	1810	廣瀬 正勝	柳ヶ浦	2070	徳永 基幸	四日市
1147	里見 恵美子	四日市	1855	松原 功	四日市	2186	後藤 照夫	佐田
1161	安部 イツカ	津房	1897	平田 和典	糸口	2109	安部 徳光	津房
1170	石川 博昭	北部	1901	四井 恭子	駅館	2115	白水 浅己	四日市
1310	酒井 正義	四日市	1917	牧野 福美	長峰	2172	糸永 智弘	豊川
1379	中野 光明	長洲	1924	松本 修一	北部	2173	清面 年治	豊川
1392	中島 恵江	四日市	1932	加藤 初美	八幡	2174	森崎 智子	駅館
1488	高松 逸己	長洲	1934	大塚 早苗	和間	2185	末綱 陽子	四日市
1594	塚崎 喜久	高家	1943	小林 孝幸	長洲	2188	小石 誠一	深見
1657	横田 親房	和間	1959	藤原 道代	駅館	2199	小園美代子	糸口
2118	稗田 富子	長洲	1992	渡辺 和義	四日市	2212	渡邊 邦子	駅館
1688	江口 武徳	高家	2009	小野 廣幸	津房	2233	磯田 好美	糸口

「物の豊かさ」と心の豊かさ」 2070 徳永 基幸(四日市)

私が小学生の頃は家にテレビがなかったので近所の家でテレビを見せてもらったり、風呂に入らせてもらったり、ご飯をよばれたりしてお世話になっていました。今は近所付き合いも少なく寂しい感じがします。

最近スマホなどで色々な情報が見れたりどこでも連絡がとれたり便利になりましたが、昔に比べればお金はかかるし贅沢になったなと思います。

そして、今一番思う事は、物の豊かさはありますが、心の豊かさ「近所付き合いや思いやり」が少なくなったと思います。

これからの人生、周囲の人に喜んでもらえる様に、日々何か役に立てる事が出来たらいいなと思っています。

「青春をふり返って」 2185 末綱 陽子(四日市)

高校を卒業した年に大阪万博があり、大半が大阪へ出て行きました。私も二度、万博へ行き、見るものすべてに圧倒されアメリカ館では月の石が展示され長い行列、人の多さに驚くばかりでした。

日本は高度成長期で活気あふれ20才の私は大阪で青春を謳歌していました。あれから半世紀が過ぎ、健康で仕事が出来る喜び、人との出逢い、趣味を生かしてボランティア活動を、充実した日々を送っています。いつも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいです。

辰年を迎えて

1934 大塚 早苗(和間)

十二年に一度の年女、私は今年で6回目を迎えられたのです。そして辰年に生まれてとても慶しいのです。辰年はチャレンジの年でも有り、また竜の如く登り竜となって天を目指し、日々精進したいと思っています。「健康、仕事、人間関係」等々

人間は1人では生きて行けないのです。周りの皆様の暖かい心で生かされているのです。今年も年女として恥じぬ様に竜の如く天まで登って行く気持ちで何事にもチャレンジを心がけ頑張って行けたらいいなあと思います。

そして世界中の人々が平和でありますように「辰年万歳」



2212 渡邊 邦子(四日市)

私の二十歳の思い出は成人式です。あの当時は華美にならない様にと、振袖は絶対ダメで皆なスーツやワンピースで出席しました。今のようにレンタルもあまりなく、せっかくなので親から作ってもらった振袖を着ることもなく、後で友達の結婚式や初釜には着りましたが、広報やスマイルに掲載されているような華やかに大勢で集うことはありませんでした。

この年になっても羨ましく何回も振袖姿に見入っています。

「七十二歳私の人生」

2233 磯田 好美(糸口)

新年早々、能登半島地震が起き、辛い一年の始まりです。

私事ですが、昨年、夫を亡くし七十歳にして一人暮らしです。

夫との思い出に涙を流す時も多く、そんな時、知り合いが「この人の本を読んだら元気づけられるよ」と吉沢久子さんの本を貸してくれました。「ひとりぼっちになっても寂しいし、悲しいんです。でも過去を振り返って嘆いて生きるのか、前を見て

大事に生きるのか」前を向いて生きていくしかありません。今年も、嬉しいこともありました。二男に女の子が生まれました。息子も辰年、今年生まれた孫も辰年、三世代に渡り辰年、素敵ですね。「暗く生きても明るく生きて、一度きりの人生。だったら、明るく生きなさいや損ですよ」勇気づけられました。地域の健康体操、クラフト、シルバー人材センターにも入会、仕事にも頑張っています。

私の人生、まだまだです。



高齢者活躍 人材確保育成事業

調理講習会

家事援助の一環で料理する時の心構えや調理の基本、食中毒について等、調理実習を通じて学びます。

2023/7/19、20 開催



講師・ゆふいん料理研究会代表
ゆふいん山椒郎 主宰 新江憲一氏

- 味噌田楽(苦瓜・米茄子)
- にんじんしりしり
- 胡瓜と名荷の炒めもの
- 枝豆焼き
- ミニトマトピクルス
- 豚バラおろしマヨネーズ
- 豆腐サラダ
- カレー
- 唐揚げ
- アボガドうどん
- 炒飯
- ししとうを炒める
- 茄子の南蛮
- 南瓜を炊く

3名の新規入会者
がありました。



Shin-e レシピ 「田楽味噌」

材料 鶏ミンチ

ごま油

しょうが、にんにく(みじん切)

砂糖(水の役目)

味噌



鶏ミンチは水からゆでる。

ゆでた鶏ミンチに左記の調味料を加え仕上げる。

※味噌の色は赤くなるほど辛口です。

11/19 第16回シルバークフェアが開催されました！



各地でのイベントが再開された令和5年、センター互助会も恒例のシルバークフェアの開催を試みました。スタートしてみると開演前からたくさんの方々が来場しました。オープニングには是永宇佐市長のギター歌唱が花を添えていただきました。



また、芸能大会も会場にはたくさんの方が参加されましたが、特に満員だったのは最後の「お楽しみ抽選会」でした。多数の参加者に新米、ステーキ肉、しゃぶしゃぶ肉が当たり笑顔、笑顔の連続でした。

また、芸能大会も会場にはたくさんの方が参加されましたが、特に満員だったのは最後の「お楽しみ抽選会」でした。多数の参加者に新米、ステーキ肉、しゃぶしゃぶ肉が当たり笑顔、笑顔の連続でした。

4年ぶりのシルバークフェアは、芸能大会、作品展、昼食接待を互助会幹事が準備を役割分担し、当日を迎えました。また、フェア用に「女性食事部会」を立ち上げ、焼きそば、鶏めし、コロッケを前日、当日の早朝から準備しました。



12/15 女性食事部会「お疲れ様会」が開催されました！



シルバークフェアの昼食接待や歳末募金のソックスモンキーを制作した女性会員と「お疲れ様昼食会」を開催しました。当日は、普段よりもチヨッピリおしゃべりした女性たちが「目」でも楽しむことができるきれいな食事に舌鼓を打ちながら和やかな時間が流れていました。また、来年もよろしくお願ひします。

シルバークフェアの昼食接待や歳末募金のソックスモンキーを制作した女性会員と「お疲れ様昼食会」を開催しました。当日は、普段よりもチヨッピリおしゃべりした女性たちが「目」でも楽しむことができるきれいな食事に舌鼓を打ちながら和やかな時間が流れていました。また、来年もよろしくお願ひします。



創作懐石竹贅にてランチ「竹かご弁当」

宇佐市シルバー人材センターは

働きたい

短期的

60歳以上

健康

臨時的

会員を募集しています

業務係(剪定担当)の賀来靖さんが3月31日付けで退職されました。



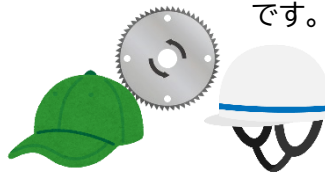
松本好恵前事務局長が2月20日付けで退職されましたのでお知らせします。松本前事務局長は32年間の長期にわたり当センターの為に尽力されました。長い間、お疲れ様でした。

職員退職のお知らせ

価格改定のお知らせ

4/1~から

ヘルメット 2,000円
チップソー 1,000円
帽子 1,000円
です。



年会費の納入について

令和6年度年会費を4月末日までに納入してください。(会費+互助会費 3,000円) 3月に請負で就業の方は配分金よりお引き落としいたします。未就業の方、派遣での就業の方は現金を事務局までお持ちください。

編集後記

◆世界に目を向けると、ロシア・ウクライナの戦争イスラエル・パレスチナ自治区ガザとの紛争といづれも未だ終結する見通しが見えません。一日も早い終結を見守っています。また、アメリカでは11月5日の大統領選挙に向けて、バイデンとトランプが熾烈を極めている。◆国内では、自民党の裏金問題に端を発した問題で岸田内閣の支持率は低下の一途をたどっている。◆この編集後記を書いている今日3月11日は、東日本大震災から13年。今年令和6年は元日から能登地震が発生し、未だ仮設住宅の建設等満足な生活が送られていない。一刻も早い援助を期待したい。◆スポーツ界ではドジャースの大谷翔平の動向に世界中が注目している。素晴らしいことだ。◆4年ぶりに開催されたシルバーフェアは芸能大会、作品展等にぎわったが、なかでもオープニング恒例になった是永宇佐市長のギター弾き語りを久しぶりに聞くことができ、会場の皆さんは満足していたようだ。◆かねてより病氣療養中の松本好恵事務局長が退職しましたが、小生、シルバーの会員になってからずっとお世話になりっぱなしで一刻も早い全快を祈っています。因みに当会報の表紙シルバーうさ since 1992の題字は松本さんが書いてくれたものです。 佐藤忠純 記

会報「シルバーうさ」第40号

◆発行日:令和6年3月31日
◆発行:公益社団法人
宇佐市シルバー人材センター
〒879-0471
宇佐市四日市 263-1
TEL:0978-33-5005
FAX:0978-24-9888
HP:https://usa-sjc.jp/
会員数:合計 374人
男性:268人 女性:106人

会報「シルバーうさ」編集委員
加藤邦昭・佐藤忠純・弦田満明
芳賀信幸後田あけみ・畑迫寿美代

